

教員コラム

専任教員 植田 裕太郎



介護福祉士として働く中で大切にしてきたこと

現在、日本は超高齢社会を迎え、高齢者、そして介護を必要とする高齢者は年々増加している現状があります。そのため介護福祉士のニーズは強く、その必要性はより一層高まっています。私自身は約8年間、介護福祉士として介護保険施設で働いてきました。振り返ってみると楽しかったことや悲しかったことを通して様々な経験をさせていただきました。私自身が介護福祉士として働いてきた中で最も大切にしてきたことは「介護を必要とする方の気持ちを考え支援をすること」です。介護を必要とする多くの高齢者の方は身体的機能の低下から様々な機能において低下がみられるため、ご自分で行動をする範囲が限られてしまいます。そのため介護福祉士は介護を必要とする高齢者が何を望み何を求めているのか考え、理解することでその方らしい生活、暮らしの実現に向けた支援が行えるのではないかと思います。専門学校の学生も「介護を必要とする方の気持ちを考え支援をすること」の意味を学ぶと共に、人と人の「こころ」を繋ぐ介護福祉士になっていただけるよう願っています。

お知らせ

■ オープンキャンパス&イベント日程

3/21 (火) オープンキャンパス
11:30～ 受付・ランチ体験・ウェルカムイベント
13:00～16:00 学校説明・体験授業など

3/22～31 (水) (金) 福祉施設の見学会
対象:高校生、介護の仕事に興味のある方、福祉施設でのボランティアに興味のある方

介護の仕事ってどうなのかな? やりがいは?

まずは目で見て感じてください。施設設備だけでなく、実際に働く職員の顔や雰囲気を感じ取っていただくことができます。

※開催会場(各福祉施設)や日程・定員などの詳細はホームページをご覧ください。
「福祉施設の見学会」の冊子をご希望の方はお問い合わせください。



■ 2017年度入試日程

入試種別	出願期間(消印有効)	選抜日	合格発表日	入学手続期間
一般入試(第Ⅱ期)※	1/4(水)～1/20(金)	2/2(木)	2/13(月)	2/14(火)～2/21(火)
一般入試(第Ⅲ期)	2/9(木)～2/21(火)	3/2(木)	3/8(水)	3/9(木)～3/16(木)
入試種別	エントリー期間(必着)	面談日	出願可否通知日	出願期間
AO入試(第Ⅴ期)	3/9(木)～3/15(水)	3/17(金)	3/20(月)	3/21(火)～3/23(木)

※試験会場を聖隷クリストファー大学、グランシップ(静岡市)、名豊ビル(豊橋市)、KDX名古屋駅前ビル(名古屋市)から選択できます。その他の入試日程の試験会場は、聖隷クリストファー大学のみです。

問い合わせ窓口/入試・広報センター

[電話] 053-439-1401 [メール] cl-entrance@seirei.ac.jp
[ホームページ] <http://www.seirei.ac.jp/carework>

まなび通信 Vol.2 2016年 12月

発行者 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校
〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町3453 TEL.053-439-1400(代表)

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

まなび通信



聖書のことば

終わりに、皆心を一つに、同情し合い、兄弟を愛し、憐れみ深く、謙虚になりなさい。
悪をもって悪に、侮辱をもって侮辱に報いてはなりません。かえって祝福を祈りなさい。
祝福を受け継ぐためにあなたがたは召されたのです。

ペトロの手紙 — 3章8-9節

某カトリック系大学に設けられているグリーンケア研究所を訪ねた。修道女である所長は、長年に亘り病床にある方々のスピリチュアルケア(ターミナルケア、グリーンケア)の実践に携わってこられた。静謐に満ちるという言葉がある。2時間以上に亘るお話の間、微笑を絶やすことなく、隣人に仕える喜びを語ってくださった。著書『それでも誰かが支えてくれる』の中で「わたしは、悲しみを背負う人々に光を照らし続けることが人生の願いです」と述べ、誰もが「心の支えとなるものを、どこかでぜひ見つけていただきたいと強く願っています」と読者に語りかけておられる。先生のもとを拝辞する際であった。「這いつくばっても神のみに生きて行きます」という力強いお言葉をもって握手をしてくださった。隣人に仕えてこられた先生の手は、とても温かく、不思議な力が流れ込んでくるような感覚を覚えた。

介護福祉の専門職者を目指して集ってきた第一期生22名の精鋭たちの歩みを心に留める。聖書に「あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい(ペトロの手紙 — 4章10節)」とある。隣人への奉仕と介護の源はどこにあるのか、学校生活のあらゆる場面を通して見極め、体得して欲しいと願う。

聖隷学園宗教主任 永井 英司

授業・実習

授業

本校は、大学の充実した学習環境を共用し、大学教員による授業も行っています。今回は、教養基礎科目の授業『情報処理基礎』、『健康長寿と運動』、『音楽心理学』と、大学の科目等履修制度*を利用して大学生とともに学んでいる授業『臨床心理学』を紹介します。

*大学で開講している授業を科目等履修生として受講し、専門学校の単位として認定する制度



情報処理基礎

リハビリテーション学部 教授 つもしんいち 津森 伸一

家庭生活や職業生活の多くの場面において必要となる情報機器の利活用能力を修得することを目的とした科目です。基本ソフトMicrosoft WindowsやオフィスソフトMicrosoft Office (Word・Excel・PowerPoint)を用い、基本操作や応用文書の作成方法について演習を通して学びながら、高度情報化社会における情報の収集・加工・発信を効率的・効果的に行うスキルの獲得を図ります。



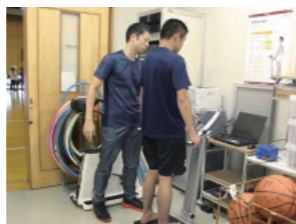
学生の感想

おきばやし こうた 沖林 晃太さん ● パソコンの基本操作やwordの文書作成方法など、パソコンの使い方を少ししか理解できていなかった私にも、1から分かりやすく丁寧に教えてくださり、この授業を受けて少しずつパソコンを扱えるようになってきました。まだ授業が始まって日数は経っていませんが、完璧に扱えるようにしていきたいと思います。

健康長寿と運動

看護学部 准教授 やすだ ともひろ 安田 智洋

日本では65歳以上の高齢者人口は2016年に27%を越え、健康長寿(介護予防)は国家の最優先課題の一つとされます。本授業では、発展した健康長寿社会を見据え、その中で運動(身体活動)をどのように捉えたらよいかを学習します。授業では、身体活動の実践と併せ、様々な生理学的データを計測しながら科学的に学習し、自分自身の健康づくりや介護福祉の現場で役立つ知識・技術を学びます。



学生の感想

かげやま しほ 影山 詩歩さん ● 私がこの授業で学んだことは、健康に暮らすためには何が重要であるかということです。健康な体を維持するために栄養・休養・運動が重要になってきます。栄養摂取と休養は普段習慣として行っていますが、運動は意識しないと疎かになってしまいます。ですから普段から運動を行い、健康でいるための体作りをしなければいけないということを感じました。

音楽心理学

社会福祉学部 准教授 にのみや たかゆき 二宮 貴之

本授業では、「音楽心理学」とはどのような分野なのかを理解するとともに、音楽が日常生活に果たしている役割、社会や教育における音楽の意義、医療と音楽の関わりについて考えることを目的としています。また、実際の授業では、福祉、医療、教育の各現場における音楽の役割について文献精読、ディスカッション、時には演奏を取り入れるなど理論と実践を有機付けた学習を展開します。



学生の感想

やまもと ひろこ 山本 紘子さん ● 授業を通して、音楽には長調の曲と短調の曲の二種類があると知り、実際に聴いてみると違いがよく分かりました。疲れた現代人におすすめの曲はカノンで、聴いているだけで心が休まり、とてもいい気分になりました。これからの授業で音楽心理について理解をますます深めていきたいと思っています。

臨床心理学

社会福祉学部 教授 ふじた みえこ 藤田 美枝子

臨床心理学は、こころの問題を抱える方やその家族の理解と援助の方法を研究しながら実践する学問で、現代社会において関心が高まっている領域です。秋semesterから4名の専門学校生が大学生と共に学んでいます。介護職として、日常生活で活用できる心理学の知識を習得・体験しながら、自己理解に努めることは大切なことだと思います。



学生の感想

たかはし あみ 高橋 亜美さん ● 臨床心理学の授業を実際に受けてみると心理学の歴史が長いことや、自分の性格がどこに分類されるのかなどを学ぶことができ、他者とのコミュニケーションをするうえで必要な自己理解を深めることが出来ました。臨床心理学は覚えることが多く難しいですが絶対に今後役に立つ内容だと思うのでこれからも頑張っていきたいと思っています。

実習

介護実習 I

入学後2カ月で介護老人福祉施設、介護老人保健施設、障害者支援施設、医療型障害児入所施設にて2週間の実習を行いました。介護実習Iは、利用者個々の生活リズムや個性を理解し、生活の場において個別的な支援を体験することを目的としています。学生一人が利用者一人を受け持ち、その方を中心にコミュニケーションをとり人間関係を深めていきました。実習施設の皆様の丁寧なご指導を受け、学生一人ひとりが自分の力を出し切り、無事に実習を終えることができました。



実習指導者の方よりスーパービジョン(指導)を受けている様子

学生の感想

たかはし なおき 高濱 直生さん ● 私は今回初めての实習を体験し、会話がうまくいかない利用者さんへの対応や、相手のお話を理解しきれない事など当初は戸惑う部分もありましたが、だんだんと自然に接する事ができたと感じています。2週間は常に学びの時間で、あっという間に実習は終わってしまいました。今回の実習の経験を、次回の実習や社会に出てからも活かせるよう励んでいきます。



お世話になった実習指導者の方と(写真右が高濱さん)

報告会には施設の実習指導者の方もご参加くださいました

実習報告会 校長 よこお えみこ 横尾 恵美子

10月12日、介護実習Iの報告会を実習指導者の方もお招きして開催しました。学生たちは実習で得たことを振り返りながら、実習先ごとにグループで発表を行いました。司会を始め運営全般も学生たちが行いました。当日、学生たちは緊張気味でしたが、司会進行を難くなくし、発表も堂々として分かりやすく内容の濃いものでした。施設の実習指導者の方からも大変ためになる講評をいただき、質疑応答も活発に行われました。

入学後2カ月も経っていない段階での実習でしたが、実習施設の指導者の方や利用者の方、そして学生の努力により豊かな学びを積み重ねることができている実習だと実感することができました。お力を貸してくださった多くの方に感謝します。



実習先ごとにいったグループ発表

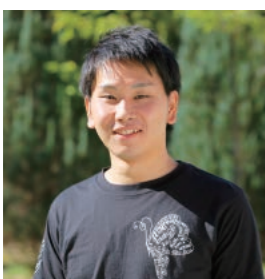
CHRISTOPHER TOPICS

クリストファー トピックス

11/5
聖灯祭を行いました



11月5日、本校は初めての学園祭「聖灯祭」を迎えました。模擬店を出店するため、学生たちは約3カ月前から打合せを始め、準備を重ねてきました。当日は手作りのトルティーヤとタピオカミルクティーを販売しました。在学生、卒業生・修了生、近隣住民の方や福祉施設の方など、たいへん大勢の方にご来場いただき交流することができました。



～聖灯祭に参加して～ 田川 浩太さん

私たちは2016年度聖灯祭に参加しました。初めてということもあり、模擬店の出店内容の検討や、準備が上手く進まないこともありましたが、学生22名が協力し合い、先生方のお力添えもあり当日は大成功となりました。また、普段見ることのできないクラスメイトの意外な一面を知ることができました。今回の聖灯祭を通じて、また新たな伝統へと一歩進むことができました。学校関係者の皆様、近隣の皆様、参加していただいた施設の皆様、そして学友に心からお礼申し上げます。



合同スポーツ・レクリエーション大会を行いました

11月17日、専門学校生と大学社会福祉学部介護福祉学科生が初めてスポーツ・レクリエーション大会を開催しました。同じ介護福祉を学ぶ学生同士そして教員がスポーツなどを通して楽しく交流できるようにと8名の実行委員によって考えられたプログラムは、運動が得意な人も苦手な人も楽しめるよう工夫され、どの時間も大変盛り上がりました。



実行委員による開会式



自己紹介を交えた記憶力ゲーム



白熱した“三角おに”



バスケットボール



ドッジボール



たたいてかぶってジャンケンポン! パパ抜き最強決定戦

今回の合同スポーツ・レクリエーション大会を通じてたくさんの方と出会うことができました。私は実行委員を担い、先輩方と楽しく準備や打ち合わせをさせていただきました。当日までも不安でしたが、実行委員同士助け合い、準備や運営を行いました。参加者みんなに楽しんでいただくことができよかったです。大学の介護福祉学科の方たちと交流することができてとても嬉しかったです。来年も今年以上に盛り上げていければと思います。本当にありがとうございました。



野口 由衣さん

MY FAVORITE
在学生の学校生活での
お気に入りの紹介



伊藤 暁俊さん

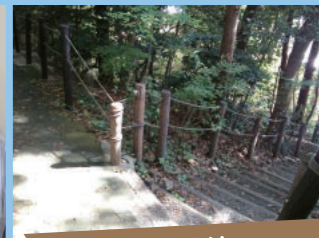


実習教育室

私のお気に入りは専門学校棟1階の実習教育室です。授業の休み時間はもちろんのこと実習中や実習後にもみんなで実習教育室へ集まり意見交換や雑談をしたり、お菓子を食ったりと専門学校の中で一番落ち着く場所です。

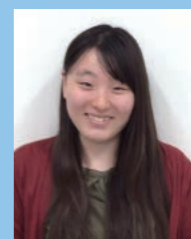


河口 和一さん



散歩道

私の一番のお気に入りは散歩道です。キャンパス周辺には緑豊かな自然が広がっているため健康管理も兼ねて散歩をしています。私は社会人入学で学んでいますが、この専門学校は学びの環境や自然環境が整っているため、再び学ぶことの嬉しさを感じています。



日向 美花さん



昼休みの時間

私の学校生活のお気に入りは、お昼休みの時間です。お昼休みの昼食後にはいつもみんなとトランプなどのカードゲームをして過ごしています。私にとってみんなと一緒に過ごす時間そのものが学校生活でのお気に入りと言えます。



2016年度秋 semester に実施した就職支援行事をご紹介します。

メイクアップ講座

10月28日、メイクアップ講座を開催しました。学生の代表者がモデルになり、講師の方にメイクの実演してもらい、就職活動にふさわしい身だしなみに身につけました。参加した学生からは、「普段あまりメイクをしないので、とても参考になりました」、「面接に向いているメイクを知ることができて、勉強になりました」といった感想がありました。



卒業生による仕事報告会

11月11日、卒業生による仕事報告会を開催しました。介護福祉関係の領域で活躍する卒業生から仕事の紹介、やりがい、どのように就職先を決定したのかなどについてお話をいただきました。参加した学生からは、「年齢の異なる3名の卒業生のそれぞれのお話を聞くことができ良かったです」、「学生時代にやっておくべきことを聞いて、勉強を頑張りたいと思いました。また、たくさん思い出を作りたいと思いました」といった感想がありました。

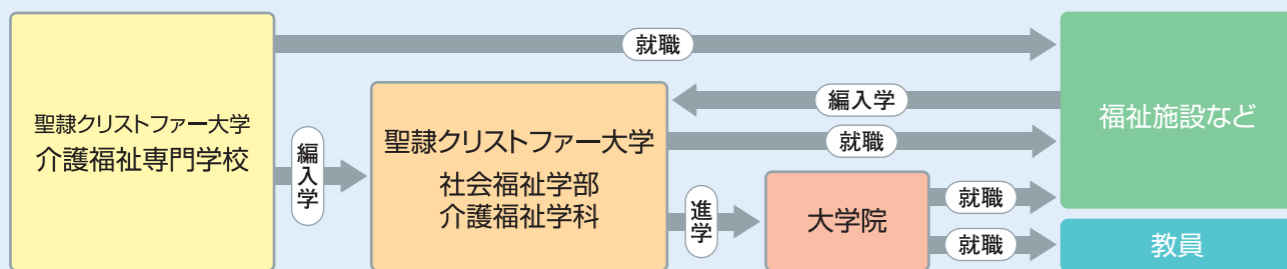


履歴書の書き方、面接の受け方講座

11月18日に、履歴書の書き方、面接の受け方講座を開催しました。これから始まる採用試験に向けて、正しい内容の履歴書を作成するために必要となる情報や心構えなどを学びました。参加した学生からは、「面接や履歴書の大切さや重要さが分かりました。今日の学びを自分のものにできるようにしたいです」、「以前に履歴書を書いたことがあるが、書き方の復習になって良かったです」といった感想がありました。



大学への編入学について



聖隷クリストファー大学の介護福祉学科では、生活を支える介護福祉を実践し、マネジメントを行い、他の職種と連携・協働できるリーダーを育成しています。介護福祉士に加え、合格することが難しい社会福祉士国家試験にも合格できるように、Wライセンス取得を目指す学生の学びを支えています。



就職に関するご相談や質問など、お気軽に問い合わせください。

就職担当教員 佐野 仁美

問い合わせ窓口／就職センター [電話] 053-436-7233 [メール] syuusyoku@seirei.ac.jp
[ホームページ] <http://blg.seirei.ac.jp/ssk/>



聖隷の歴史ある 介護福祉教育

～継承と発展～

教務主任 杉山 せつ子

聖隷学園浜松衛生短期大学附属福祉医療ヘルパー学園（以下福祉医療ヘルパー学園）・聖隷介護福祉専門学校において初代校長の津久井十先生は、熱心なクリスチャンで、世界に目を向け祈りながらの教育者であったことを思います。

毎朝15分の礼拝には、創設者の長谷川保先生をはじめ奨励に来ていただいた方々との良き出会いがあり、学生は、聖書によって人間の基本的あり方や尊厳ある「人格対人格の関係」を学んでいました。

介護福祉は、生活の場における実践科学ということで、学生生活すべてを学びの場としてきました。行事は、すべて学生が企画運営する場としました。



津久井十先生から杉山先生へ贈られた聖書

私が1986年4月に聖隷学園に就任してから、校長の賛同を得て強化してきたことは、「介護過程」、「介護技術」、「介護過程に基づく介護実習」でした。とりわけ、「介護実習」は、厚生省（現厚生労働省）の役人2名が実習報告会を見学に来られ、教員室でB4サイズの中質紙に書かれた介護過程に基づく実習記録もお見せしました。後で知ったのですが、福祉医療ヘルパー学園の実習の部分が介護福祉士養成カリキュラムのモデルになったということです。

聖隷クリストファー大学社会福祉学部（介護福祉専攻→臨床介護福祉学科→介護福祉学科）においては、「学問」を重視しながらも、教員は学生さん一人ひとりに心を向け、介護福祉への熱い思いを伝えてきました。

2016年4月、豊かな超高齢社会のために介護人材を養成する聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校が開校しました。2025年に38万人の人材が不足するとされる介護現場に、今後、益々外国人が増加します。ITやロボットの開発が進みます。介護福祉士に医療の知識・技術の強化も図られることが予測されます。

学生さん一人ひとりに与えられているたまもの（能力）を延ばす環境を意識し、学生さんと共に介護福祉士の独自性を追求し、教育内容においてもパイオニアとして工夫していきます。

図書館より

図書館は、5号館の2階と3階にあります。新しい機能として、ラーニングcommonsとグループ学習室が設置されています。こちらはグループや個人の自主学習のためのスペース“学生が共に学びあう「場」”です。問題解決のために図書や雑誌を持ち込み、グループでディスカッションをしたり、貸出パソコンを利用して課題を作成したり、プレゼンテーションの練習をするなど活用しています。食べ物は持ち込めませんが、蓋つきの容器であれば飲み物持参でリラックスして学習することもできます。

図書館には、図書館を利用する学生の皆さんを支援する「図書館サポーター」がいます。図書館サポーターは、本学の大学院生です。文献・図書の探し方、レポートのまとめ方についてのアドバイス、試験に向けての学習方法、グループ学習室の活用方法などの質問に対応しています。わからないことは気軽に図書館サポーターに聞くことができます。



ラーニングcommonsは、図書館内に有りながら、仲間同士で自由に声を出して学習できる場所です。



貸出用のパソコンやプロジェクターを活用してグループ学習ができます。



図書館サポーターが文献検索の方法をアドバイスしています。